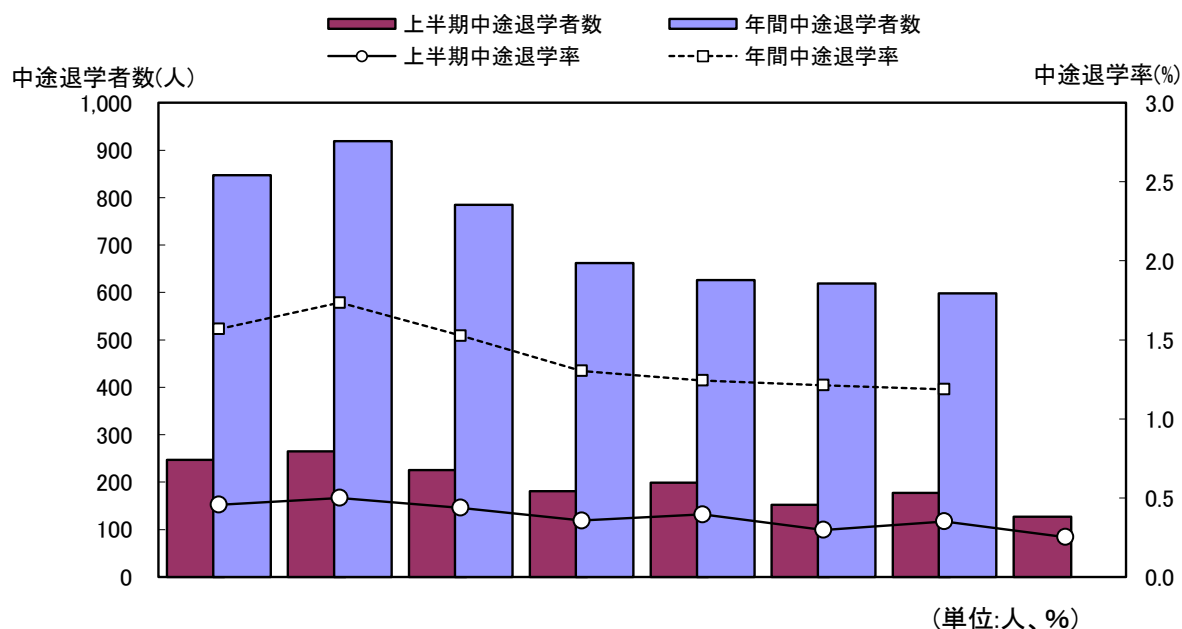


# 平成24年度上半期公立高等学校中途退学者の状況について

## 教学指導課心の支援室

### 1 年度別推移



(単位:人、%)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
上半期	中途退学者数	247	265	225	181	199	152	177	127
	前年度増減	▲ 40	18	▲ 40	▲ 44	18	▲ 47	25	▲ 50
	中途退学率	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3
年間	中途退学者数	847	919	785	662	626	619	598	-
	中途退学率	1.6	1.7	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2	-

(注) 中途退学率=中途退学者数÷年度当初の在籍者数

上半期中途退学者の総数は127人で、前年度に比べ50人減少し、中途退学率は0.3%となっている。

### 2 課程、学科、学年、男女別人数

(単位:人、%)

			1年	2年	3年	4年	単位制	計	前年度増減
全 日 制	普通科	男子	14	11	6	/		31	▲ 19
		女子	10	9	5			24	▲ 4
		計	24	20	11			55	▲ 23
	専門・総合 学 科	男子	5	11	1		1	18	▲ 8
		女子	2	6	2		6	16	6
		計	7	17	3		7	34	▲ 2
全 日 制 計			31	37	14	7	89	▲ 25	
定 時 制	男子	4	3	2		15	24	▲ 13	
	女子	5	1			8	14	▲ 12	
	計	9	4	2		23	38	▲ 25	
全・定合計	男子	23	25	9		16	73	▲ 40	
	女子	17	16	7		14	54	▲ 10	
	計	40	41	16		30	127	▲ 50	
	前年度増減	▲ 18	▲ 22	▲ 8	0	▲ 2	▲ 50	-	
	構成比	31.5	32.3	12.6	0.0	23.6	100.0	-	

全日制は89人で前年度に比べ25人減少し、定時制でも38人で25人減少している。学科別では全日制普通科が23人、専門・総合学科が2人それぞれ減少し、学年別では1年生が前年度に比べ18人減少、2年生は22人減少、3年生、単位制でも8人・2人がそれぞれ減少している。

### 3 事由別人数

(単位:人、%)

中途退学理由		全 日 制							定 時 制			全・定合計		
		普 通 科		専 門・総合学科		全 日 制 計			人数	構成比	前年度 構成比	人数	構成比	前年度 構成比
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	前年度 構成比						
1	学校生活・学業不適応	28	50.9	14	41.2	42	47.2	50.0	19	50.0	57.1	61	48.0	52.5
2	進路変更	8	14.5	10	29.4	18	20.2	13.2	12	31.6	15.9	30	23.6	14.1
3	問題行動	7	12.7	3	8.8	10	11.2	17.5	-	-	11.1	10	7.9	15.3
4	家庭の事情	2	3.6	4	11.8	6	6.7	5.3	1	2.6	3.2	7	5.5	4.5
5	学業不振	3	5.5	2	5.9	5	5.6	2.6	1	2.6	1.6	6	4.7	2.3
6	経済的理由	2	3.6	1	2.9	3	3.4	1.8	2	5.3	3.2	5	3.9	2.3
7	病気・怪我	2	3.6	-	-	2	2.2	2.6	1	2.6	4.8	3	2.4	3.4
8	死 亡	1	1.8	-	-	1	1.1	4.4	1	2.6	3.2	2	1.6	4.0
9	勤務上の理由	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	そ の 他	2	3.6	-	-	2	2.2	2.6	1	2.6	-	3	2.4	1.7
合 計		55	100.0	34	100.0	89	100.0	100.0	38	100.0	100.0	127	100.0	100.0

学校生活に熱意がない、授業に興味がない、学校の雰囲気が合わない、人間関係がうまく築けないなど「学校生活・学業不適応」を理由として退学した者が前年度に引き続き最も多く61人で構成比は48.0%となっている。次いで「進路変更」は、30人で23.6%となっている。

### 4 中途退学直後の状況

(単位:人、%)

(単位:人)

進路等の状況		人 数			構成比	前年度 構成比	内 容		人 数	
		全	定	計					全	定
1	就 職 (アルバイトを含む)	37	17	54	42.5	42.9	卸売・小売・飲食	15	12	
2	求 職 中	20	10	30	23.6	23.2	建設	9	2	
3	家 居	12	5	17	13.4	13.6	サービス	9	2	
4	進学準備中	9	3	12	9.4	9.6	農 林	1	1	
5	進 学	5		5	3.9	2.3	製 造	2		
6	療 養 中	2		2	1.6	2.3	公務・その他	1		
7	無 職	1	1	2	1.6	1.7	進路を検討中	4	1	
8	死 亡	1	1	2	1.6	4.0	手 伝 い	4	1	
9	そ の 他	2	1	3	2.4	0.6	自 営	1		
合 計		89	38	127	100.0	100.0	そ の 他	3	3	
							通信制高校	2	2	
							高校再受験	5		
							高卒程度認定試験	1	1	
							専修学校等	1		
							通信制高校	5		
							交通事故		1	
							そ の 他	1		
							そ の 他	2	1	

「就職」と「求職中」を合わせると84人で構成比は66.1%、前年度と同じ構成比となっている。「進学」と「進学準備中」を合わせると17人で構成比は13.3%、前年度に比べ1.4ポイント増加している。「家居」は、17人で13.4%、前年度と比べ0.2ポイント減少している。

## 5 課題と今後の対応

### (1) 現状

- 年度別推移について
  - ・ 平成24年度高等学校中途退学者数は127人で、前年度に比べ50人減少した。中途退学者率は、前年度より0.1ポイント下がり0.3%となった。
- 課程・学科・学年・男女別人数について
  - ・ 全日制は89人、定時制は38人で、前年度に比べそれぞれ25人ずつ減少した。
  - ・ 学科別では全日制が23人、専門・総合学科が2人減少した。
  - ・ 学年別では1年生が18人、2年生が22人、3年生が8人、単位制が2人それぞれ減少した。
- 事由別人数について
  - ・ 「学校生活・学業不適應」が最も多く61人で、構成比48.0%であった。次いで、「進路変更」は、30人で23.6%となっている。
- 中途退学直後の状況について
  - ・ 「就職(アルバイトを含む)」が54人で最も多く、構成比42.5%、次いで「求職中」が23.6%となっている。
  - ・ 「就職(アルバイトを含む)」と「求職中」を合わせると84人、構成比66.1%で、前年度と同じ構成比となっている。
  - ・ 「家居」は17人で13.4%、前年度に比べ0.2ポイント減少した。

### (2) 課題

- 生徒理解を基盤に据えた生徒指導体制の整備。
- 家庭や地域、さらに、関係機関とのさらなる連携。
- 中・高の連携を充実させたチーム支援体制の構築。
- 生徒一人ひとりに寄り添った指導の徹底。

### (3) 今後の対応

- ソーシャルスキルトレーニング等の人間関係づくりを充実させた早期適応指導の充実。
- チーム支援や教員研修の充実による校内相談体制の整備。
- 不登校傾向の生徒や保護者を対象とした「高校進学説明会」の実施および中学校訪問や体験入学の充実。
- 「学びなおし」等の、学習意欲を高める学習指導の実践。
- 中途退学者の社会的自立に向けた支援。
  - ・ 退学後の継続した支援のために、県が作成したリーフレット「新たな進路のために」の活用
  - ・ 「地域若者サポートステーション」、「ジョブカフェ信州」等との積極的な連携
  - ・ 厚生労働省委託事業「高校中退等アウトリーチ事業」の周知